

問1	1885年から1899年にかけての日本の貿易統計において、輸入総額に占める綿糸の割合は28.2%から2.8%へと大幅に減少する一方で、原料となる綿花の輸入割合が増加しました。このような貿易構造の変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 政府が綿糸の輸入を全面的に禁止し、国産品のみを使用するよう国民に義務付けたため。	2. 製糸業が衰退したことにより、絹織物の生産が綿織物に取って代わられたため。	3. 重化学工業化が急速に進んだ結果、綿糸よりも鉄鋼や機械の輸入が優先されたため。	4. 大規模な紡績会社が設立されるなど紡績業が発達し、国内での生産体制が整ったため。
問2	日本列島で稲作が広まり、人々が竪穴住居に住んで定住生活を行っていた時代について説明した記述があります。その記述には、大陸から伝わった銅鐸や銅鏡などの青銅器が祭りの道具として用いられていたことや、当時の中国の歴史書において日本が「100余りの国」に分かれていたと記されていることが示されています。この時代の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 縄文時代	2. 奈良時代	3. 古墳時代	4. 弥生時代
問3	近畿地方の各府県の地理的特徴をまとめた説明において、海に面していない「内陸県」に該当する県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 奈良県と京都府	2. 奈良県と和歌山県	3. 滋賀県と三重県	4. 滋賀県と奈良県
問4	日本の乳用牛の飼育頭数に関する統計において、上位8位までの中に栃木県、群馬県、千葉県、茨城県の4県が含まれている地方として、正しいものはどれか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 関東地方	2. 東北地方	3. 近畿地方	4. 中部地方
問5	静岡県伊豆の国市にある遺構や、薩摩藩が建設した当時の模型、およびそこで鑄造された大砲の模型から確認できる、幕末の技術革新の象徴とされる施設の名称を答えなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 商館	2. 適塾	3. 反射炉	4. 製糸場
問6	1950年代の統計では、オーストラリアにおける外国生まれの住民の約半数をイギリス出身者が占めていました。しかし、近年ではインド、中国、フィリピン、ベトナムといったアジア諸国からの移民が大幅に増加し、住民の出身国が多様化しています。このような背景から、現在のオーストラリアが掲げている、多様な民族がそれぞれの文化を尊重しながら共生する社会のあり方を何といえますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. ブロック経済圏	2. 単一民族国家	3. 多文化社会	4. 同化政策
問7	人や資源、資本が世界規模で行き来する「グローバル化」が進展したことによる経済的な影響として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 各国が自国内の資源と労働力のみで製品を生産する体制を強化したため、輸入による影響を受けにくくなった。	2. 情報技術の普及によって対面での交流が不要となり、人の国際的な移動は以前に比べて減少した。	3. 企業の国際的な分業が進み、安価な製品が流通する一方で、一国の不景気が世界中に波及するリスクが高まった。	4. すべての国が平等な経済力を手に入れたため、先進国と発展途上国の間の格差問題は完全に解消された。
問8	鎌倉幕府において、源氏の将軍が途絶えた後に北条氏が「執権」という役職に就き、有力な御家人を統率して幕府の実権を握った政治形態を何といいますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 親政	2. 執権政治	3. 院政	4. 摂関政治
問9	社会的な課題を解決するための合意形成において重視される「効率」と「公正」という考え方のうち、「公正」の視点に合致する説明はどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 限られた時間や予算の中で、無駄なコストを省きながら最大限の成果を得られているかという視点	2. 手続きが適正に進められ、特定の人に不当な負担をかけたり、不利益を与えたりしていないかという視点	3. 社会全体の利益を優先し、少数の意見よりも多数決の結果を迅速に実行できているかという視点	4. 最新の技術を導入することで、これまでにないスピードで目的を達成できているかという視点
問10	インドに進出している外資系のファストフード店では、他の国で一般的に使われる牛肉や豚肉の代わりに、鶏肉や魚肉、あるいは野菜を用いたメニューが数多く提供されています。このようなメニュー構成となっている理由として、インドの宗教人口の統計的背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. キリスト教徒が人口の約15%を占めており、特定の曜日に肉を食べてはいけないという教えが社会全体の食習慣に強く影響しているため。	2. 人口の大多数を占める仏教徒が殺生を禁じているため、肉類全般の提供が法律で厳しく制限されており、魚肉が推奨されているため。	3. ヒンドゥー教徒が不浄なものとして豚肉を避け、イスラム教徒が神聖なものとして牛肉を避けるという、両者の教えが共通しているため。	4. 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒が牛を神聖視して牛肉を避けるとともに、人口の約14%を占めるイスラム教徒が豚肉を禁忌としているため。
問11	平城京跡などの遺跡から出土する「木簡」の中には、送り主の氏名や地名のほか、中身の品目（布や海産物など）が詳しく記されたものが多く見られます。このような木簡が「税」に関連して果たしていた役割について、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 日宋貿易において、日本から輸出する硫黄や刀剣が密貿易品ではないことを示すための許可証として機能していた。	2. 租として徴収された稲が、各地方の国庫で適正に保管されているかを検査するための証明書として機能していた。	3. 地方の特産品を都へ運ぶ「調」などの荷物に付けられ、どここの国や郡から納められたのかを明確にする荷札として機能していた。	4. 防人が九州沿岸の警備に赴く際、その身分や出身地を証明し、兵役の免除を受けるための身分証として機能していた。
問12	大人と子どもが向き合っている姿をデザイン化した公式ロゴマークを掲げ、国際協力を行う機関があります。この機関の活動内容として、最も適切なものはどれか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 武力紛争や迫害により他国へ逃れた人々の安全を確保し、自発的な帰還や定住を助ける。	2. 国境を越えて広がる感染症の対策や、医療体制が不十分な地域での保健行政の指導を行う。	3. 国や地域による教育格差をなくすため、識字率の向上や世界遺産の登録・保護を推進する。	4. 開発途上国の乳幼児への予防接種や、安全な飲料水を確保するための井戸の掘削を支援する。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 大規模な紡績会社が設立されるなど紡績業が発達し、国内での生産体制が整ったため。	1880年代後半、大阪紡績会社などの大規模な工場が設立され、蒸気機関を用いた機械による大規模な紡績業が発展しました。これにより国内での綿糸の生産量が増加し、製品としての綿糸を輸入する必要がなくなったため、統計上では製品の輸入が減り、代わりに原料である綿花の輸入が増加することとなりました。これは日本の軽工業における工業化（産業革命）を象徴する動きです。
問2	答え 4 弥生時代	紀元前数世紀から紀元後3世紀頃にかけての日本列島では、大陸から伝わった水稻耕作（稲作）が普及し、食料生産が安定したことで社会の仕組みが大きく変化しました。この時代、鉄器が武器や工具として使われる一方で、銅鐸などの青銅器は豊作を祈るための祭礼具として重宝されました。また、中国の歴史書『漢書』地理志には、当時の日本（倭）が100余りの小国に分かれ、一部の国が楽浪郡を通じて中国（漢）に使者を送っていたことが記されています。
問3	答え 4 滋賀県と奈良県	近畿地方は2府5県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県）で構成されています。このうち、海に面していない内陸県は、県の中央に琵琶湖を抱える滋賀県と、歴史的な文化遺産が多く残る盆地を中心とした奈良県の2県のみです。京都府は日本海、三重県と和歌山県は太平洋や紀伊水道などに面しています。
問4	答え 1 関東地方	乳用牛の飼育は北海道が圧倒的に盛んですが、それに次いで飼育頭数が多いのが関東地方の諸県です。これは、巨大な人口を抱える都市圏に向けた「近郊農業」として酪農が発展してきた歴史があるためです。特に栃木県は、北海道に次ぐ全国第2位の生乳生産量を誇るなど、関東地方は日本の酪農において重要な役割を果たしています。
問5	答え 3 反射炉	静岡県にある韮山反射炉は、実際に大砲を铸造した反射炉として現存する唯一の遺構であり、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の一つにも含まれています。当時、西洋の技術書を翻訳・研究し、薩摩藩や肥前藩が先駆けて導入したこの施設は、日本の近代工業化の出発点として位置づけられています。
問6	答え 3 多文化社会	白豪主義を廃止したオーストラリアは、1970年代から「多文化主義」を公式な政策として採用しました。これは、移民が自分たちの元の文化や言語を保持することを認め、それを社会の豊かさとして受け入れる考え方です。現在では、アジア系住民の増加により、経済や文化の面でアジアの一員としての性格を強めています。
問7	答え 3 企業の国際的な分業が進み、安価な製品が流通する一方で、一国の不景気が世界中に波及するリスクが高まった。	グローバル化によって、企業はコストの低い国で生産を行う国際分業を推し進めました。これにより消費者は安価な製品を入手できるメリットを得ましたが、経済的な結びつきが強まったために、リーマン・ショックのような特定の国の経済危機が世界規模で連鎖する課題も生じています。
問8	答え 2 執権政治	鎌倉幕府を創設した源頼朝の死後、その妻である北条政子の実家である北条氏が、將軍を補佐する役職である「執権」の地位を世襲しました。これにより、形骸化した將軍に代わって北条氏が政治の決定権を持つ仕組みが確立されました。平安時代に藤原氏が天皇を補佐した摂関政治や、上皇が政治を行った院政とは、主導権を握る階層や組織が異なります。
問9	答え 2 手続きが適正に進められ、特定の人に不当な負担をかけたり、不利益を与えたりしていないかという視点	「公正」とは、物事を決める際の手続きが正しく行われているか、また、特定の人だけが犠牲になつたり不当な扱いを受けたりしていないかという観点から判断する考え方です。これに対し、時間やお金を無駄に使わずに目的を達成しようとする考え方は「効率」と呼ばれます。
問10	答え 4 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒が牛を神聖視して牛肉を避けるとともに、人口の約14%を占めるイスラム教徒が豚肉を禁忌としているため。	インドの人口統計では、ヒンドゥー教徒が約79.8%、イスラム教徒が約14.2%を占めています。ヒンドゥー教では牛を神聖な動物として崇拝するため牛肉を食べることが避けられ、イスラム教では豚を不浄なものとして食べることを禁じています。多宗教社会であるインドでは、これら両方の宗教的背景に配慮する必要があるため、鶏肉や羊肉、魚肉などが代替として広く利用されています。
問11	答え 3 地方の特産品を都へ運ぶ「調」などの荷物に付けられ、どこの国や郡から納められたものを明確にする荷札として機能していた。	奈良時代の税制である租・庸・調のうち、庸や調は地方の特産品を都まで運ぶ必要がありました。全国から膨大な物資が都に集まるため、管理のために「どこの誰が納めたか」を記した木簡が荷札として取り付けられました。この仕組みにより、中央政府は徴税の状況を正確に把握することができました。選択肢にある「勘合（割符）」などの貿易証明書とは、使われた時代も目的も異なります。
問12	答え 4 開発途上国の乳幼児への予防接種や、安全な飲料水を確保するための井戸の掘削を支援する。	大人と子どもが向き合う姿のロゴマークは、国連児童基金（ユニセフ）のものです。この機関は、子どもの生存と健やかな成長を目的としているため、ワクチンの供与による感染症予防や、不衛生な水による病気を防ぐための環境整備など、具体的な生存支援に重点を置いています。他の選択肢は、ユネスコ、WHO、UNHCRの活動内容にあたります。